

# みやた歯科通信

2010.7.9

## 特集：唾液と歯科疾患

——口が乾燥する、乾く 怖い口渇症——

### ▶ 唾液は免疫の中核——唾液の不足は要注意！——

患者さんは意外にご存知ありませんが、唾液は私たちを感染症から守る大切な「免疫」の役目をしています。唾液の中には悪質な外来微生物と戦う多くの免疫物質が入っていて、日々それらと戦ってくれているのです。

唾液は二種類あって役割が違います。唾液には食べ物を良く分解するネトネトする唾液（粘稠性）と、どちらかという口の中を良く洗ってサラサラにしてくれる唾液（漿液性）があります。それぞれがバランスよく配合されていますが、子供の頃はどちらかという漿液性の唾液が多く、歳をとると粘稠性が多く傾向があるようです。それは相対的にサラサラの唾液が減少してくるからだと考えられています。



### ▶ 粘稠唾液が増えると悪玉の細菌が増える——お年寄りに多い口渇症——



ネトネトの唾液が増えると食べ物が歯にこびりつきやすくなり、結果的にむし歯や歯周病になりやすくなります。もっと深刻になると唾液の絶対量が減って口が渇く、乾燥するといった「口渇症」といった状態になります。口が乾燥しますので、プラークが歯を覆うようになり、独特な口臭がします。

### ▶ 口渇症には水の補給と漢方薬で対応！

口渇症を治すにはまず不足しがちな体液性分を水で補給しなくてはなりません。日本の軟水は身体にも優しく効果的です（詳しくは[みやた歯科通信「現代人は水不足!？」4/22号]を参照して下さい）。よく「お茶をたくさん飲む」という方がいらっしゃいますが、お茶はあくまでお茶の水分ですので、体液補給には必ずしも効果的ではありません。漢方薬にも効果的なお薬がありますが、「弁証・論治・治則・方劑」という中国医学独特な患者さんそれぞれに合ったオーダーメイドのお薬を処方いたしますので、担当医と相談して下さい。



ご質問はお気軽にどうぞ♪